

経営比較分析表（平成30年度決算）

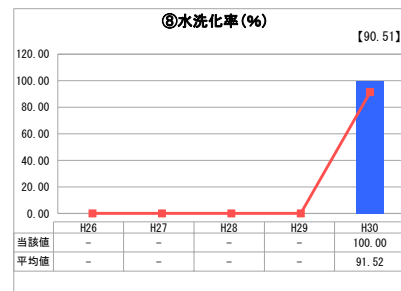
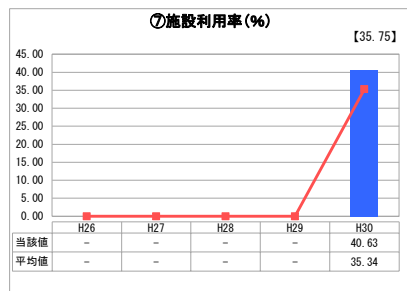
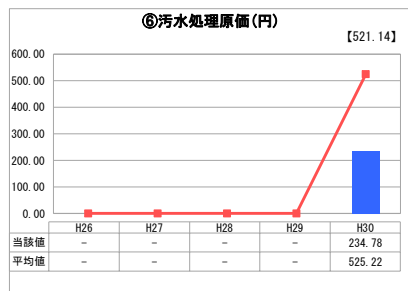
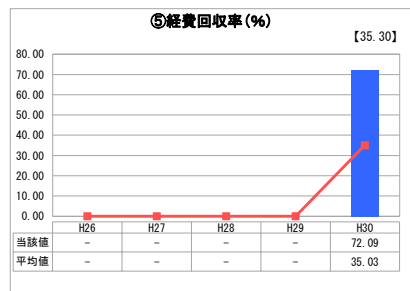
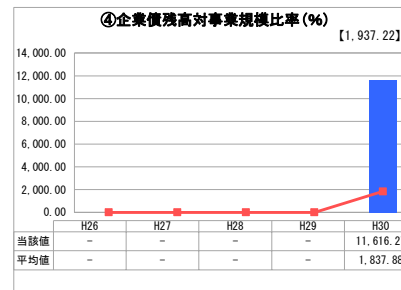
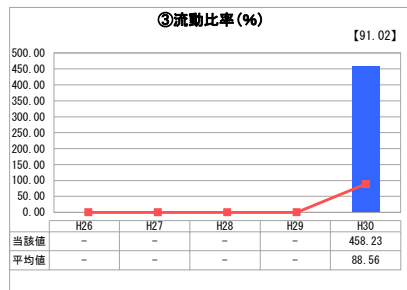
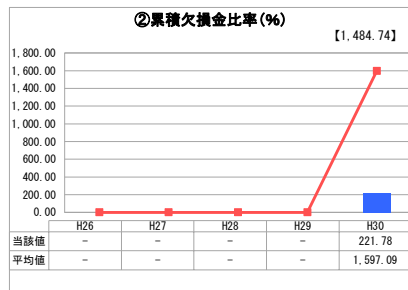
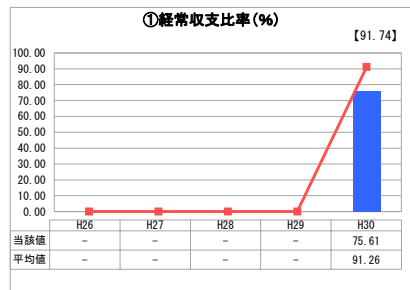
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	2.19	0.07	98.51	3,348

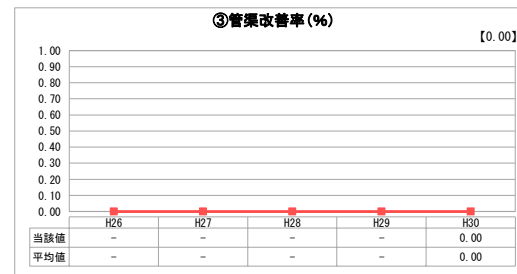
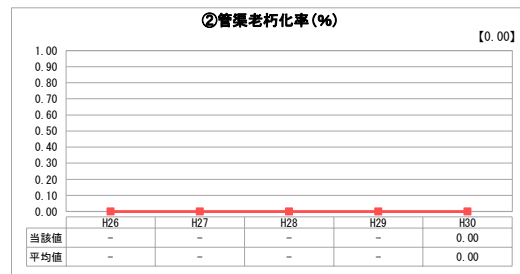
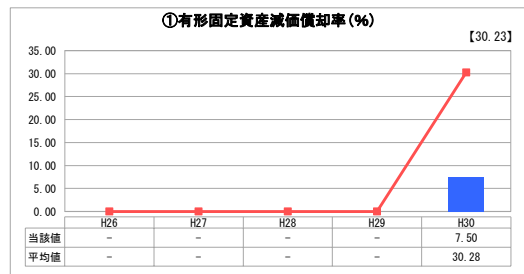
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,940	318.29	166.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
39	0.10	390.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

事業規模が小さく収益が少ないことに加え、人口減少や節水社会の進行等による有収水量の減少により使用料収入が減少している。また、整備事業に要した起債の償還額が増加しており、収益に対して地方債償還費の比率が高いため、①経常収支比率及び②累積欠損金比率の数値は、分流式下水道等に要する経費の見直しにより多少の改善はみられるものの、悪化している状況にある。

④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し整備事業に要した企業債の残高が大きいため、類似団体と比較すると高い状況にある。

⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、平成28年度の分流式下水道に係る経費の見直し以降、数値に改善が見られる。

⑦施設利用率は近年数値に大きな動きはないが、今後、人口減少等による有収水量の減少により低下することが予想される。

⑧水洗化率は、全世帯接続されており100%である。

2. 老朽化の状況について

管渠については、更新工事が必要な老朽化は見られない。

処理場については、老朽化により機械設備の更新を行っており、今後も耐用年数を迎える機械設備の更新が順次必要になる。

全体総括

事業規模が小さいことや人口減少等により使用料収入の増加を見込むことは難しいが、維持管理費の縮減や老朽化による更新事業を計画的に実施することにより費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。

なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。